

「できないこと」の体験ではなく、「できること」に注目 福祉教育に取り組んでいます

社協では年間を通じて、市内の小・中学校や団体・企業向けに福祉教育や体験プログラムを行っています。障害に対する理解を深めるためのプログラム作りに障害のある方やボランティア団体の皆さんと一緒に取り組んでいます。

◆ 見えない世界を体験しよう！

従来の「暗くて怖い」

などのアイマスク体験から一歩踏み出し、普段の暮らしの工夫の体験や、楽しんでいるスポーツのお話などをしていただきました。



向田小学校

水泳や卓球などのスポーツも楽しんでいるお二人と、握手やおしゃべりをする交流もありました



福沢小学校

◆ 車いす体験

介助する体験だけでなく、自分で車いすを動かしてみることにも挑戦。普段気づかないバリアに気づくことができました。



南足柄市文化会館
出前講座

◆ 手話講座

手話を通じて楽しくコミュニケーションを図ります。ジェスチャーや表情でもたくさん伝わります。



南足柄中学校

まずは、挨拶。次に自分の名前を覚えて、伝え合います。ほめ上手な皆さんから、やさしく手話を教えてもらいます

12/25 (水) お正月クッキング

冬の寺子屋 南足柄で育つ好奇心！

12/14 (土) おやこ・お菓子福祉教室

家族みんなで食べられるおせちづくり挑戦！メニューは伊達巻・紅白しゅうまい・ごはん団子のお雑煮・牛乳かんの4品。
※レシピのご希望の方は社協まで



「めっちゃめっちゃ楽しかったです！」



「本格的なクッキーができるね！」

市身体障害者福祉協会の皆さんと一緒にクッキー作り、会員さん手作りのカレーもいただきました。福祉に触れつつ、楽しい交流のひとつになりました。

得意を生かして広がる交流 身障協会 副会長 中村吉和さん



調理師免許を生かして、社協事業「しゃやぼんだまの会」や「おやこ・お菓子福祉教室」では昼食を提供しています。参加者と一緒に作ることもあり、顔見知りが増えていると感じることも。出会った子どもが、スパーで高い所の品物を取ってくれたこともあったよ。不便なことも多いけど、社協や岡本包括はハードルが低くて行きやすい。「知っている顔がいる」っていう安心感か
もね。

表紙の言葉



笑顔がいちばん
身障協会 副会長 望月智子さん

会員に半ば強引に手を引かれ入会笑。家族の助けがないと外出できないのかと沈んでいた頃もあったけれど、身障協会の研修や行事では、ボランティアさんが手伝ってくれるので、「一人でも参加できる！」。この感覚がうれしくて、楽しいです。社協事業で、子どもたちやお母さんたちと出会うなかで、あいさつと笑顔がやっぱりいちばん大切だな、と思っています。

